

評 価 表 (案)

計 画 内 容	計画名	平成17年度練馬区石神井地区地域介護福祉空間整備計画					都道府県名	東京都		
							市町村名	練馬区		
	計画期間	平成17年度 ~ 平成17年度					日常生活圏域	石神井地区		
	目標 (面的な配置構想)	緑豊かな石神井公園、武蔵関公園を擁する地区であり、西武池袋線、新宿線の駅を中心として市街地が全域に広がっている。地区の高齢化率は区平均より高く、特に後期高齢化率は最も高い。日常生活圏域内の公的介護施設はまだ不足しており、今後は地域密着型サービス施設および介護予防拠点を計画的に配置していく。18年度に地域支援(介護予防)事業を早急に開始するため、17年度は区立の高齢者センターを改修し、介護予防拠点として整備する。事業参加者が事業終了後に自主的な介護予防活動を行うことにより、参加者以外の人との交流を通じて、介護予防の普及にも効果を発揮する場として整備する。								
整 備 事 業	種 類	施設数	定員数	総事業費	対象経費	17年度交付額	18年度交付額	19年度交付額		
	介護予防拠点	1		7,500,000	7,500,000	7,500,000	0	0		

指標名	施設整備の進捗状況	計画時現況		17年度		18年度		19年度		累計		進捗率 (%)	
		施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数
指標 ①	介護予防拠点	種 類											
		目標値	0	—	1	—	—	—	—	1	—	100.0	—
	実績値	0	—	1	—	—	—	—	1	—			
	目標値												
	実績値												
	目標値												

指標名	事業費の支出状況		17年度	18年度	19年度	累計	
	種 類	経費区分					
指標 ②	介護予防拠点	総事業費	計画値	7,500,000	0	0	7,500,000
			実績値	2,205,000			2,205,000
		対象経費	計画値	7,500,000	0	0	7,500,000
			実績値	2,205,000			2,205,000
		交付金交付額	計画値	7,500,000	0	0	7,500,000
			実績値	2,205,000			2,205,000
		総事業費	計画値				
		実績値					
		対象経費	計画値				
	実績値						
	交付金交付額	計画値					
	実績値						
	総事業費	計画値					
	実績値						
	対象経費	計画値					
	実績値						
	交付金交付額	計画値					
	実績値						

指 標 ③	指標名	事業者間の連携状況等
	<p>民間事業者等と連携を図りながら、事業運営を行っている。</p> <p>①介護生活相談(月1回開催) (福)泉陽会第二光陽苑在宅介護支援センター(練馬区関町5-7-22)に相談員を依頼している。</p> <p>②マシンを使わず自宅でもできる筋トレ体操(18年度は2回開催) (福)泉陽会第二光陽苑デイサービスセンター(練馬区関町5-7-22)に講師を依頼している。</p> <p>③地域支援事業(18年度は3か月、週2回開催) 早稲田エルダリーヘルス事業団(新宿区早稲田鶴巻町518)が実施している。</p> <p>④いきがいデイサービス(週1回開催) NPO法人福祉サロン(練馬区石神井台2-8-9)が実施している。</p> <p>⑤利用者のボランティア派遣(各週1回実施) 関町特別養護老人ホーム(練馬区関町南4-9-28)へ、高齢者センター利用者が麻雀および囲碁を教えにボランティアとして通っている。</p>	

項 目	評価区分	評価の判断理由等	
評 価	施設整備の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> A目標とする整備が完了している <input type="checkbox"/> B目標とする整備が進んでいない	介護予防拠点の整備が予定どおり完了し、18年度から地域支援事業の実施会場として活用している。
	整備量と経費の比較	<input checked="" type="checkbox"/> A適切である <input type="checkbox"/> B適切ではない	施設内で整備を計画していた場所が施設利用者との協議により変更(2階⇒3階)となり、工事施工面積が減少したことから、経費が予定の約3割となった。
	要因分析	内部要因	高齢者保健福祉計画で高齢者センターを中心的な介護予防拠点と位置付けたことにより、整備事業が具体化した。
	外部要因	国による交付金制度が創設された時期と、法改正により18年度から開始される地域支援事業の実施場所の整備時期が一致した。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> A良好に進んだ <input type="checkbox"/> B良好に進まなかった	<p>整備する箇所の床面積が地域との調整で計画より減少し、経費が約3割で整備できた。</p> <p>事業者間の連携状況については、今後、施設を活用しながら充実を図る必要がある。</p>	